

県庁舎（行政棟）の改修概要



令和8年



改修の背景と目的

沖縄県庁舎行政棟は、行政の府として高度の機能性を具備し、将来の行政需要及び省エネ等による経済性と安全性に配慮しつつ、沖縄固有の自然等を生かした風格ある庁舎を目指すという基本理念の下、建設された。

県庁舎行政棟において、平成2年の竣工から老朽化が進んでいることから長寿命化を図るとともに、働き方改革等社会情勢の変化に対応するため改修を行う。



建築物等概要

建物名称	： 沖縄県庁舎（行政棟）	用途	： 事務所
住所	： 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2	建築面積	： 4,746 m ²
地域・地区	： 商業地域、防火地域、那覇市景観計画区域	延床面積	： 78,243 m ²
敷地面積	： 41,650 m ²	建ぺい率	： 25%
階数	： 地下2階、地上14階、塔屋3階	容積率	： 235%
構造	： 鉄骨鉄筋コンクリート造、 一部鉄骨造、鉄筋コンクリート造	高さ	： 71 m（軒高：58 m）
		竣工年	： 平成2年（1990年） / 築35年

改修概要

■ユニバーサルデザインへの対応

- ・視認性の高い色彩計画、多言語化、ピクトグラムを用いた、だれにでもわかりやすいサイン計画

■スペースの有効活用、快適なワークスタイルの構築

- ・執務室のワンフロア化とユニバーサルレイアウトの採用
- ・会議室、執務室の確保
- ・執務室のOAフロア化
- ・オープンスペースの設置による多様な働き方に対応

■トイレのレイアウト改善

- ・女子トイレのブースを各階東西に1箇所増設
パウダーコーナーの新設
- ・各階にバリアフリートイレを設置
- ・1階に授乳室新設

■環境負荷低減対策

- ・開口部の熱負荷低減、節水型トイレ、LED照明、高効率機器の採用による環境負荷の低減
- ・空調、給水設備及び照明器具等の高効率化によるランニングコスト（経費）削減

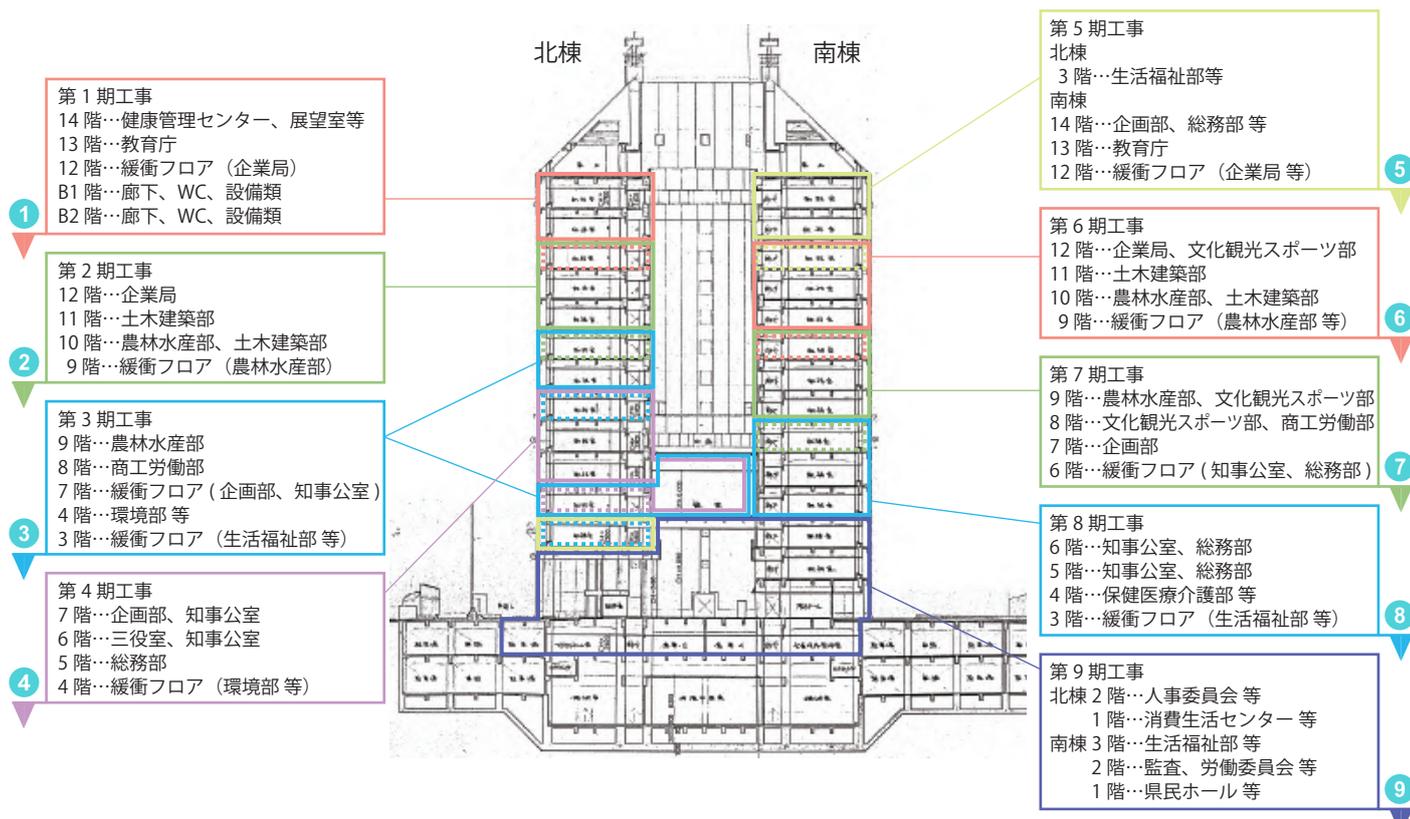
■維持管理コストの縮減

- ・点検、保守性を考慮
- ・組織改変に対応しやすいレイアウトによる経費削減

■耐災害性の向上

- ・ガラス窓の飛散防止、特定天井の落下防止対策等の耐震性、安全性の確保
- ・高潮、津波被害防止のための止水板設置

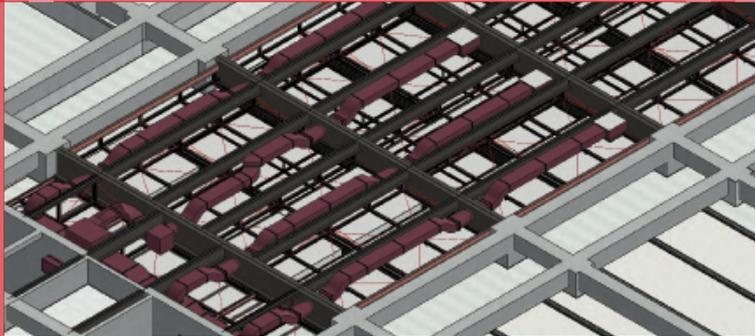
工事ステップ





※イメージ

特定天井



落下防止等耐震対策 (1階県民ホール・4階講堂)

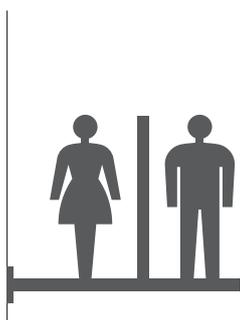
総合案内カウンター

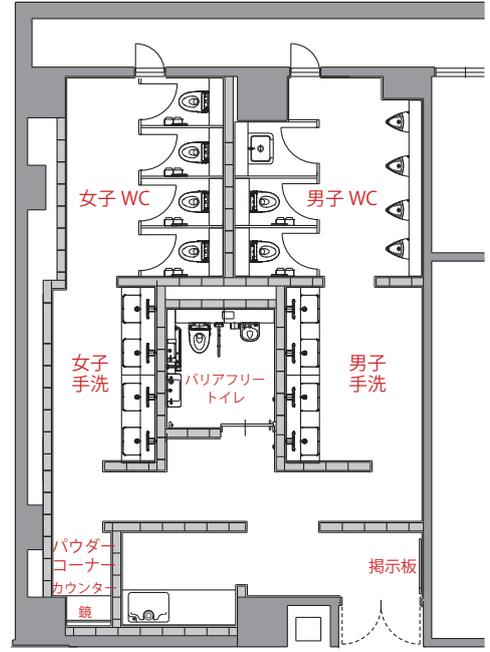
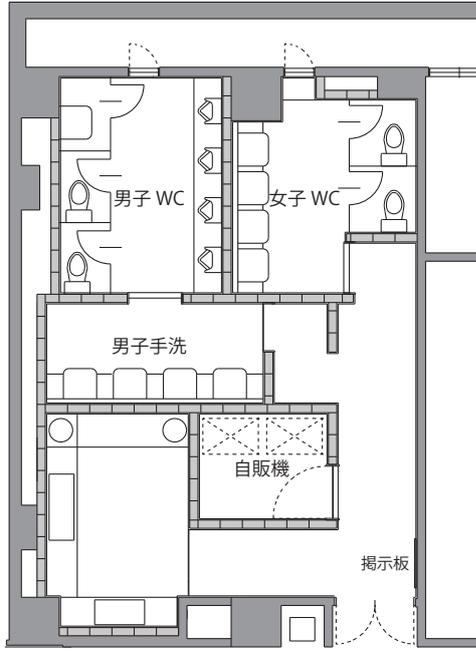


ユニバーサルデザインへの対応



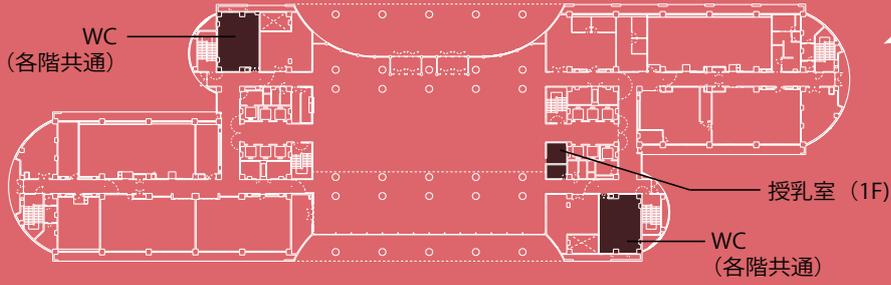
東西サイン (多言語表記)



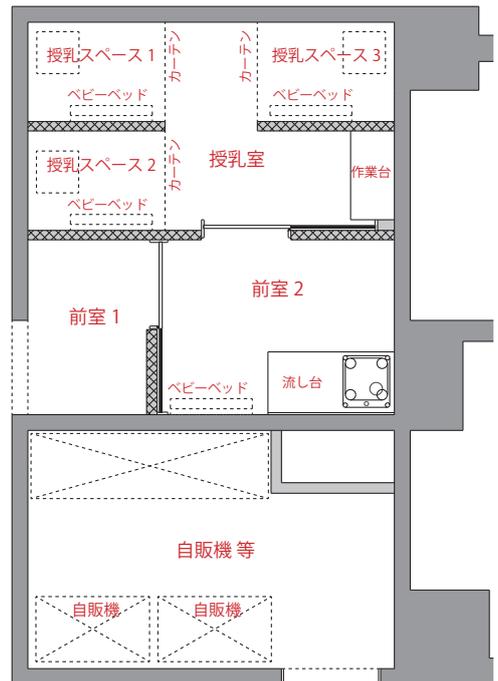


NO SCALE

before



after



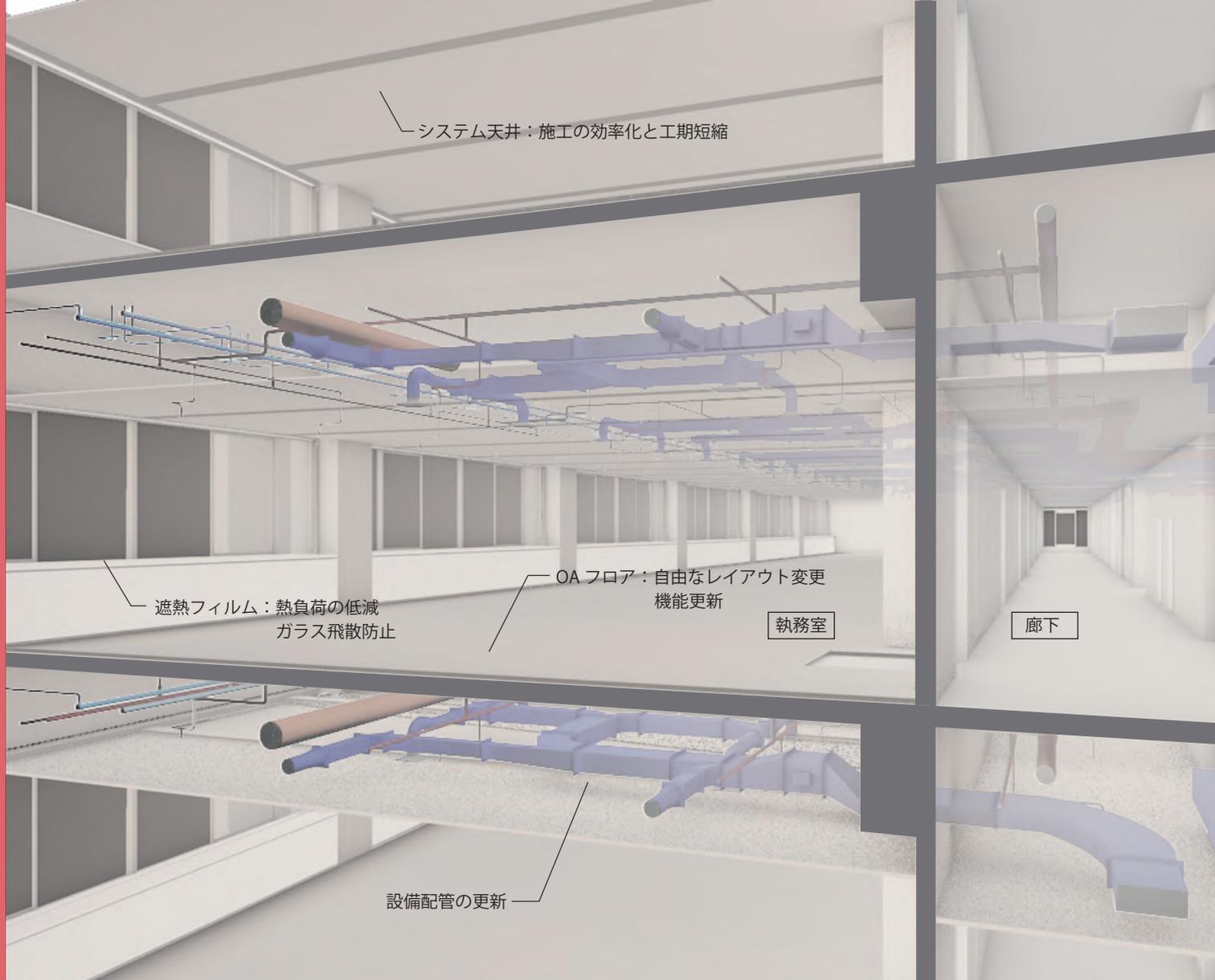
NO SCALE



office PLAN

※イメージ





照明設備の改修

- LED化
 - ・消費電力の削減
 - ・ランプ交換不要となり、維持管理コストの削減
- センサー制御、ゾーニング制御
 - ・無駄な点灯をなくし、電力消費量の削減と長寿命化を図る
 - ・用途や状況にあわせて個別に照明を制御し、機器の長寿命化、消費電力の削減

配電効率の向上

- 電力利用の効率化
 - ・電力損失を低減し、送電効率が向上
 - ・電流が少ないことによる運用コストの削減
 - ・空調機等の動力負荷を高効率で駆動
- 幹線ケーブルの本数削減、材料費の削減（400V化等）
 - ・電線サイズの縮小や本数の削減
 - ・必要な導体断面積が小さくなることによる材料費を削減

空調設備のゾーン制御

- 省エネルギー、エネルギー効率の向上
 - ・未使用の室等の空調を停止、緩和する事で消費電力を削減
 - ・室毎の特性に合わせた最適な空調でエネルギー効率を向上
- 快適性の向上
 - ・各ゾーンに最適な室環境を提供し、快適性を向上
- 効率的な運用と負荷低減
 - ・機器への負荷低減により、空調設備の長寿命化
 - ・エネルギー消費量削減により、環境負荷を低減

節水型の衛生器具の採用

- ランニングコストの低減
 - ・使用水量の削減
 - ・機器の負荷低減により、長寿命化、メンテナンス等による維持管理コストの低減
- 環境負荷の低減
 - ・水資源の節約に貢献し、環境負荷への低減
- 使用水量削減による災害時・断水時のリスク軽減
 - ・貯水槽の水をより長く利用でき、庁舎機能を維持（BCP）